

生息条件評価



今回調査をした公園の中で、花壇・植栽地の評価が最も高かった。手入れの行き届いた花壇と、クズ、ヤブ、バランス良く立地し、多様な生息条件を作り出している。



← 花壇・植栽地
たくさんの花が咲く管理された植栽花壇とオギなどが生育する粗放管理地（左）。

7月18日



↑ 草地：草丈の異なる植物が生育し生物多様性を高めている。 6月11日



↑ ビオトープ池：水生植物がほとんど見られない。 4月10日

主な確認種

採餌のため、花壇や粗放管理の草藪などを訪れる種は多いが、樹林性種は少なく、繁殖地として利用する種も多くはない。

分類	主な確認種
夏期繁殖鳥類	・メジロ・エナガ・ヒヨドリ・ムクドリ・シジュウカラ・キジバト・カワラヒワ・ハクセキレイ・スズメ・ドバト・アオサギ・ハシボソガラス・ハシボソガラス・(ツグミ) 計14種
冬期越冬鳥類	メジロ・ヒヨドリ・スズメ・ドバト・ハクセキレイ・シジュウカラ・ハシボソガラス・モズ・ジョウビタキ 計9種
昆虫 チョウ類	・ナミアゲハ・アオスジアゲハ・クロアゲハ・モンシロチョウ・スジグロシロチョウ・キタキチョウ・ヤマトシジミ・ツバメシジミ・ウラナミシジミ・コムシジミ・ゴマダラチョウ・キタテハ・ツマグロヒョウモン等 計21種
昆虫 トンボ類	・オオシオカラトンボ・ウスバキトンボ・シオカラトンボ 計3種
昆虫 甲虫類	・クズクビソハムシ・コフキゾウムシ・シロテンハナムグリ・キボシツツハムシ・カナブン・コクワガタ・イモサルハムシ・スグリゾウムシ・リュウキュウツヤハナムグリ・カブトムシ・ナミテントウ等
昆虫 その他	・オオスカシバ・オオカマキリ・アカスジカメムシ・ニイニイゼミ・ミンミンゼミ・アブラゼミ・ウスイロササキリ・ホシホウジャク・ヤブキリ・オンブバッタ・ショウリョウバッタ・オオスズメバチ・クマバチ等
両棲類 爬虫類 魚類 他	・ヒキガエル・ヒバカリ・ニホントカゲ ・モツゴ・タイリクバラタナゴ・メダカ ・ヌマエビ・アメリカザリガニ

Feild Note
観察記録

花壇



オオスカシバ 6月12日



クマバチ 5月24日

樹液

今年は、ナラノナガキクイムシ（ナラ枯れ）の影響で、樹液が多数確認された。 7月18日

リュウキュウツヤハナムグリ

カナブン

シロテンハナムグリ



幹一周で、シロテンハナムグリ108匹。カナブン23匹。リュウキュウツヤハナムグリ7匹。カブトムシ1匹。 7月18日

池ビオトープ



アメリカザリガニ(条件付き特定外来種)がかなりの数を占めた。4月17日



タイリクバラタナゴ 4月17日



池畔で発見されたヒバカリ 4月17日



モツゴ 4月17日



ヒキガエル幼生 4月17日

春先、ヒバカリは、カエル類の幼生をよく捕食する。